

# 「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業

家庭の親一人ひとりが改めて自らを振り返り、子育てについての意識を新たにし、子どもたちの手本となれるような活動の実践を促す「親が変われば、子どもも変わる」運動を普及啓発し、認知度を高めるための推進事業を実施しました。

実施に当たっては、応募のあった団体の中から10団体を指定して、それぞれの団体は、地域で多くの団体・グループ、行政機関、地域の大人たちと連携、協働して事業に取り組みました。

かすみがうら市

## 親子ふれあいミーティング 青少年育成かすみがうら市民会議

### 《事業のねらい》

親子の相互理解を深めるとともに、地域全体で青少年を育む地域づくりを推進する。

### 《活動の内容》

#### 1 講演会

講演は、「親が変われば、子どもも変わる」子どもの発達と3つの力」と題し、講師に茨城大学生涯学習教育研究センターの長谷川幸介氏を迎え、またゲストスピーカーとして、江戸文化研究所主宰の外岡仁氏にご講演を頂きました。

#### 2 親子ふれあいミーティング

親子147名が参加し、9グループに分かれて司会者（親）を中心に話し合いを行いました。その内容や感想を各グループで発表を行いました。



が協力して作成した御輿の披露が行われた他、模擬店やゲーム、フラダンス、子どもたちの太鼓演奏が行われ、地域住民の交流が深まりました。会場には、「親が変われば、子どもも変わる」運動ののぼり旗が立てられ、運動の普及啓発にも努めました。



つくば市

## 切り干しダイコンをつくってみよう！ フードプロジェクト

### 《事業のねらい》

「干し野菜」は貴重な伝統食であると同時に栄養価の高い自然食であることから、子どもたちがダイコンの種まきや収穫を体験し、また親子で調理を行うことで、楽しみながら食生活を見直す機会とする。

### 《活動の内容》

土浦市立斗利出小学校1、2年生により、9月に畑でダイコンの播種を行い、その後は、間引き、育苗、観察などを子どもたちが継続して行いました。

12月にはダイコンを収穫し、親子で調理実習を行いました。当日は、切り干しダイコンだけでなく、様々な干し野菜や果物を食べ比べ、自作のオリジナルふりかけなどで作ったおにぎりや干し野菜の汁物を味わいました。食後は、食の大切さや干し野菜の魅力について、農業士の方からお話を聞き、食生活を見直す機会となりました。



常陸大宮市

## おおみや☆ファミリープロジェクトVol.2 青少年育成常陸大宮市民会議大宮支部

### 《事業のねらい》

現代の家庭の在り方や教育力を再確認し、親力向上のための学びの場を提供するとともに、親自身が学ぶ姿を子どもたちが感じ取ることで、親子が認め合い、家族の絆を深める。

### 《活動の内容》

#### 1 マジカル・ヒストリー・ツアー

～ふるさとは不思議がいっぱい～

市内に残る民話や伝説ゆかりの地を親子で訪ね、その場で語りや聞き、郷土の伝統や文化について理解を深めました。また、西塩子の回り舞台のバックヤードツアーに参加し、日本最古の回り舞台であるその価値等を学びました。

#### 2 おおみやファミリー♥サロン

～ネット社会の中での子育てとその課題～

大宮地域の保護者を対象に、ネット社会の危険性を学ぶとともに、子育てや子どもたちの学校生活、家庭生活における悩みや心配事を語り合い、その課題等を共有することで、親としての規範意識等を確認し合いました。



水戸市

## 子どもへの暴力防止プログラム

NPO法人水戸子どもの劇場

### 《事業のねらい》

子どもの安心・自信・自由の気持ちや権利を核にしたCAP（子どもへの暴力防止プログラム）のアプローチを地域に広げることで、地域の大人のつながり、親の認識を変えて、子どもたちに自己肯定感を高める。

### 《活動の内容》

#### 1 CAPプログラム（地域の大人向け）

地域の親24名が参加して、暴力とは何か、子どもがなぜ暴力を受けやすいか、子どもを暴力から守るために必要なことなどを学びました。

#### 2 CAPプログラム（指導員向け）

県内の地域親、指導員46名が参加し、いじめや暴力をテーマにした寸劇やグループトークを通して、暴力防止、子どもの自己肯定感を育てる関わり方などを学びました。



鉾田市

## 徳宿地区ふれあい祭り 青少年育成鉾田市民会議徳宿地区協議会

### 《事業のねらい》

三世代の交流の中で「親が変われば、子どもも変わる」運動を実践し、運動の重要性を再認識してもらう。

### 《活動の内容》

徳宿小学校区内の子ども、親、高齢者の三世代の地域住民約500名が集まり、学区内の8つの地区でそれぞれ三世代

## 親が変われば、子どもも変わる

つくば市更生保護女性会

## 《事業のねらい》

親子一緒に体験活動を通して、家庭のあり方や家庭の教育力を再認識し、親力向上や親子の相互理解を図る。

## 《活動の内容》

## 1 荊崎・谷田部・豊里地区

「健康なからだところを育む」をテーマにしたイベントに親子66名が参加し、市警察署の防犯教室や養護教諭による生活習慣改善のお話の他、更生保護女性会による「タバコの害」についてのロールプレイ、親子レクリエーションのじゃんけん遊びなど、親子で一緒に体験しながら様々なことを楽しく学びました。

## 2 筑波・大穂・桜地区

テーマを「親子でふれあい 心と身体の健康づくり」として、地区の小学生と保護者99名が参加し、食育のお話やおせちをテーマにしたパネルシアターを見た後、親子で一緒に古代米を使ったおにぎりを作りました。また、身近な材料を使って楽器を作ったり、フォークダンスを参加者全員で踊ったり、親子の交流を深めました。



## 親子が幸せになるヒント講座

特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく

## 《事業のねらい》

子育てに不安や悩みを抱えている親に、親の役割や家庭教育の大切さ、親自ら身をもって示す「しつけ」の理解を学ぶとともに、講座を通して親同士の「縁」を結び、お互いが支え合える環境を作る。

## 《活動の内容》

## 1 子どもの育ち力、親の育て力

講師に茨城大学准教授の長谷川幸介先生をお迎えし、子育てに対する親の姿勢や、子どもが学力、社会力、自己肯定力を身につけるための方法を学びました。

## 2 子どもが幸せになるための親の役割

親にとっての幸せを考え、親の行動が子どもの成長や人格形成にどのような影響を与えるのかを学びました。

## 3 野菜嫌いを美味しく克服

子どもが苦手な野菜をたっぷり使って、本格インドカレーを作りました。作ったカレーを親子で味わいながら、家庭での食生活を豊かにするコツを話し合いました。

## 4 ワークショップ 子育て茶話会

親同士の交流を図りながら、参加者それぞれが親子関係を振り返り、自分の子育てに対する考え方や姿勢について改めて見直す機会としました。



## 「余裕を持って子育てするために」ワークショップ

NPO法人いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい

## 《事業のねらい》

しつけは、誤って感情的に叱ってしまうと、子どもの心まで傷つけ、虐待になりかねないことから、良好な親子関係を築くことができるしつけの方法を考える。

## 《活動の内容》

## 1 リラクゼーション講座「ヨガとティータイムでリフレッシュ」

感情的にならないためには、心に余裕が必要であることから、子どもと離れてリラックスする時間を過ごすため、

託児を設けてヨガ講座とお茶を飲みながらの交流会を実施しました。

## 2 講演会&amp;ワークショップ（水戸市あゆみ園）

「楽しく子どもと育っていくために」をテーマにした講演を聞いた後、参加者全員で子育ての悩みや実体験を話し合うワークショップを開催しました。

## 3 講演会（坂東市総合文化ホール）

県西地区私立幼稚園PTA連合会と連携し「グループホームから考える子どもとの関わり方」をテーマに児童養護施設ケアワーカー関貴教氏の講演会を開催しました。



## 親子木工教室、メディア講演会 他

上野合父親委員会

## 《事業のねらい》

親子で協働して何かを達成したり、成就感を味わったりすることで親子の絆を深め、その中で親が良い手本となれるよう、自らを振り返るきっかけとする。

## 《活動の内容》

## 1 親子木工教室

住宅メーカーから講師4名と木材の提供を受け、親子19組およそ50名が、使い慣れない道具に苦戦しながらも、親子で話し合いながら協力してテーブルや椅子などを作製しました。

## 2 親子メディア講演会

児童や保護者152名が参加し、県メディア教育指導員を講師として、情報教育の現況、スマホの利便性と子どもたちが抱える問題点とその対応策について話を聴きました。

## 3 親子でベーコンづくりに挑戦

段ボールやアルミホイルを活用し、地元で生産された豚のバラ肉を材料として親子でベーコン作りに挑戦しました。



## 美和に生き、地域を活性化する人材の育成

美和中学校 父母と教師の会

## 《事業のねらい》

自分のふるさとである美和を愛し、人間性豊かな実践力のある子どもの育成を図る。

## 《活動の内容》

## 1 「美和ふるさと祭り」

「あんどんの貼り絵」の製作、「家庭郷育10か条」の配布と朗読を行いました。

## 2 「親子ふれあい活動（体育祭）」

美和中学校体育祭に来られた地域の方々と一緒に参加し、地域のふれあいを図り、親子の絆を深めました。

## 3 「思春期のこころとその関わり方」

スクールカウンセラーを講師に呼び、親の子に対する接し方について、具体的事例を交えた話を聴きました。

## 4 「美和地区職場見学・職場体験学習」

職場見学や職場体験を通して、将来の自分の生き方を見つめ、親子の話し合いのきっかけとしました。

## 5 「これからの親のあり方」

市人権擁護委員が講師となって、親同士で子どもの人権を守る意義について話し合いました。また、菊池校長先生の講話では、家庭教育における親の役割を、「親が変われば、子どもも変わる」運動の趣旨を交えて話をしました。

